

この度は本機をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。この取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

ご使用前に、「安全にお使いいただくために」を必ずお読みください。この取扱説明書はいつでも見ることができる場所に大切に保管してください。本書の内容は将来予告なしに変更することがあります。本書の内容の一部または全部を無断で複写、転載することは禁じられています。

安全にお使いいただくために

この取扱い説明書は本製品を安全にお使いいただく為に守って頂きたい時効を記載しています。その表示と図記号は次のようになっています。内容を理解よく理解してから本文をお読み下さい。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重症を負う可能性がある内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が障害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。



この表示は気をつけて頂きたい注意喚起の内容です。

目次

製品内容	2
お取り扱い上の注意	2
定格仕様	3
オートワイパー機能説明	3
オートライト機能説明	4
レインセンサー ライトセンサー感度調整方法	4
外形寸法図	5
外部取り合いピンアサイン 配線詳細	5
車両接続配線図	6
オートワイパー接続方法	7-8
センサー取り付け方法	8
オートライト接続方法	9
保証規定 保証書	10

製品内容(付属品一覧、使用方法)

 <p>インターフェースモジュール ※外部取り合い制御用</p>	 <p>センサー ※雨滴検知用センサー本体</p>	 <p>カプラー ※センサーレンズ部貼付け用</p>	 <p>14ピンワイヤーハーネス ※レインセンサー用配線</p>
 <p>8ピンワイヤーハーネス ※オートライト用配線</p>	 <p>3ピンワイヤーハーネス ※センサーモジュール間配線</p>	 <p>レインセンサースイッチ(3接点) ※中心の【・】で機能 OFF、他感度設定</p>	 <p>ライトセンサースイッチ ※オートライト ON/OFF スイッチ</p>
 <p>アルコールワイプ ※カプラー貼付け時洗浄用</p>	 <p>2配線接続コネクター ※車両配線接続用(青赤注意)</p>	 <p>Rain & Light ステッカー ※スイッチ識別用</p>	 <p>ケーブルタイ ※配線収束用</p>

2配線接続コネクターの使い方 ※下記使用方法を誤ると適切な接続が得られず誤作動や動作不良の原因となります。

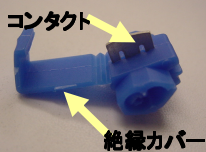


警告

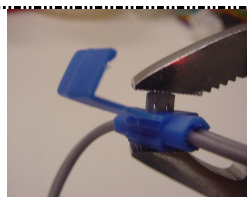
赤色のコネクターはAWG18-22規格の配線用です。φ0.5~1.0mm用です。

青色のコネクターはAWG14-18規格の配線用です。φ1.0mm~1.6mm用です。 ※8、9頁に本製品配線幅記載しております。

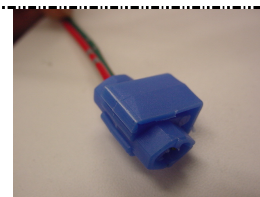
※片側が小さい配線の場合は小さい方を基準にして赤色を使用して下さい。大きいサイズを使うと接触不良を起こします。



①配線の被服を剥がさずに接続したい配線を2本入れます。



②プライヤでコンタクトを垂直に突起がなくなるまで押し込んで下さい。



③絶縁カバーを被せれば接続完了です。

お取り扱い上の注意



警告

- 本製品はワイパーとライト動作の補助システムです。運転に支障がでるような場合はワイパーとライト作動を手動でON/OFF切り替えて交通規則に従い安全に運転してください。
- レインセンサーの構造原理上、赤外を反射させるものであれば雨滴以外も検知し、ワイパーを動作させます。この為給油時や洗車時等は雨滴感知モードをOFFの状態にして下さい。レインセンサーの検知エリアに触れるとワイパー動作し怪我を起こす可能性があります。
- 本製品は車載用のアクセサリとして設計製作されていますが、防水仕様ではありません。車両の室外または水滴が落ちる場所には設置しないで下さい。
- 本機を分解、改造しないでください。火災・感電・故障の原因になります。
- 本機を落とす、踏むなどの強い衝撃を与えると破損する恐れがあります。そのまま使用すると火災・感電の原因になります。
- 煙が出ている、変な臭いがするなどの異常状態で使用しないでください。火災・感電・故障の原因になります。速やかにエンジン停止しイグニッションをOFFにして下さい。

定格電圧	DC12V
電源電圧範囲	DC 10V ~ DC16V
最大通過電流	SLOW: 12A / FAST: 25A (1時間) / 各ランプ: 500mA
保存温度範囲	-40 ~ 100℃
作動温度範囲	-30 ~ 70℃
最大消費電流	最大165mA: 【オートワイパーFAST とオートライト作動時】

オートワイパー機能説明

【オートワイパー作動仕様】

下記条件が揃ったときにレインセンサーが機能し雨滴感知モードになります。

- ・ 車両イグニッション(IGN)が ON 時 ※IGN が ON になったときに 12V が流れるところから DC12V をとること
 - ・ レインセンサースイッチが HI または LO になっている時
- 下記の操作をした場合は 1 回ワイパーが作動します。
- ・ イグニッション ON でレインセンサースイッチを OFF【・】から HI もしくは LO に設定した場合

雨滴感知モードでセンサーが雨滴を検知することでワイパーが作動します。

センサーが雨滴を検知し、ワイパーでふき取った後、雨滴の無い状態でも 15 秒後にワイパーは一回動作します。フォローアップワイブ【仕上げ拭きモード】です。

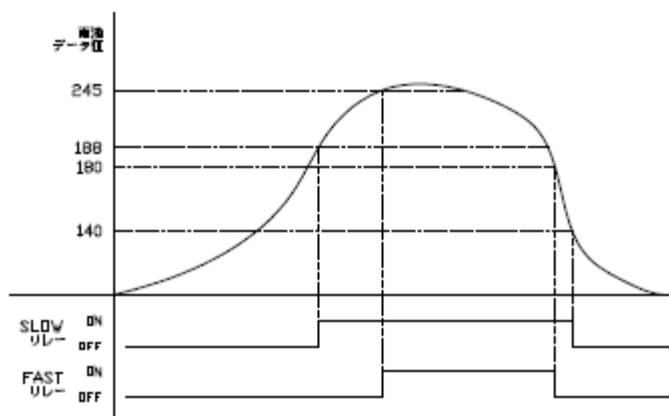
雨滴感知モード時下記の操作を行うとオートワイパーを OFF できます。

- ・ 車両イグニッションが OFF 時
- ・ レインセンサースイッチを OFF【・】の設定にした場合

【オートワイパー作動チャート】

- ・ 降雨量によりセンサーで積算した雨滴データ値により間欠モード SLOW モード、FAST モードに突入します。
- ・ このデータの閾値はBCD スイッチで設定変更可能です。ワイパーの動作感覚があわないときには設定を変更してください。設定変更方法は次頁をご参照下さい。
- ・ 下記チャートの通り降雨量がどんなに多くても OFF 状態から一気に FAST モードへの突入はありません。

5. オートワイパー仕様
5-1. 作動チャート(参考)



警告

雨滴感知モード時でも車両のワイパースイッチの切り替え設定は優先されます。雨滴感知の感覚には人によって異なりますので運転に支障がでるような場合はオートワイパーの設定を無視し車両のオートワイパースイッチによる手動に切り替えてください。雨滴検知には赤外センサーを使用しております。この為日光等の赤外の外的影響により稀に誤作動を起こす場合がございます。原則的に降雨時のみの使用とし、晴天時には OFF 設定にして下さい。



警告

レインセンサーは雨滴検知用に作られたセンサーです。この為雪には対応いたしません。降雪時には使用せずに OFF としてください。また雪や障害物がワイパー動作を妨げるような状態の時は必ず OFF にして下さい。車両のワイパーモーターの容量にもよりますがワイパーロック時に過電流状態となり本製品が焼損する危険があります。ワイパーのロック状態を確認したら速やかに OFF にして下さい。



注意

レインセンサーの構造原理上、赤外を反射させるものであれば雨滴以外も検知し、ワイパーを動作させます。この為給油時や洗車時等は雨滴感知モードを OFF の状態にして下さい。レインセンサーの検知エリアに触れるとワイパー動作し怪我を起こす



下記作動原理を理解し運転に支障がでるような場合はワイパーとライト作動を手動で ON/OFF 切り替えて交通規則に従い安全に運転してください。

【オートライト作動仕様】

下記条件が揃ったときにライトセンサーが機能しオートライト待機モードになります。

- ・ 車両イグニッション(IGN)が ON 時 ※IGN が ON になったときに 12V が流れるところから DC12V をとること
- ・ ライトセンサースイッチが ON になっている時

オートライト待機モード時に外光の赤外、照度により車両の車幅灯(スモールランプ)とヘッドランプリレーを作動させます。

- ・ イグニッション ON でライトセンサースイッチを OFF にした場合はオートライト待機モードが解除されます。

【オートワイパー、オートセンサー共通事項】

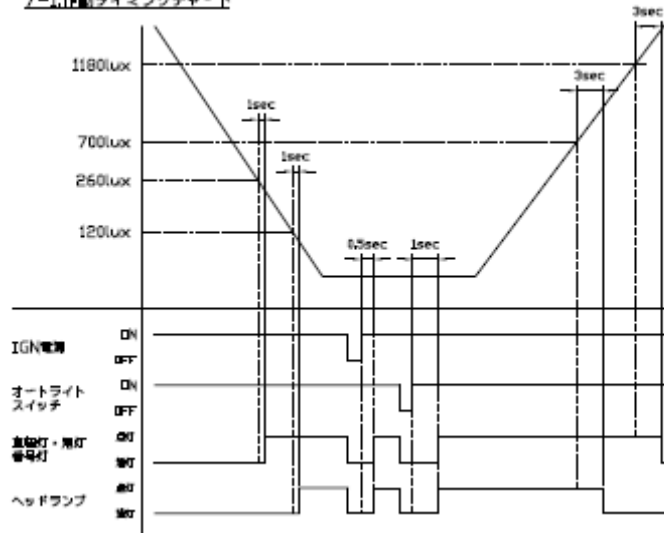
本システムではフェールセーフモードがあり、本製品に以上がある場合はオートワイパーの【SLOW】とヘッドランプが点灯します。

- ・ センサーユニット故障、センサー、インターフェースモジュール間の通信異常
- ・ メイン CPU 異常
- ・ 通信用デバイスの異常

【オートライト作動チャート】

- ・ 下記照度 LUX は参照です。本製品のライトセンサーは赤外検知量を LUX に換算しております。この為実際の照度とは異なりますのでご了承下さい。
- ・ 赤外の影響の多いトンネル電灯等の下では照度とは関係なく赤外の影響を受け稀に作動しないなどの現象が起こります。その際は手動にてヘッドランプを点灯させてください。
- ・ 照度が高い照明下でも赤外の量が少ない室内や立体駐車場内等の中でもオートライト機能が作動しヘッドランプは点灯致します。

7-1.作動タイミングチャート



レインセンサー、ライトセンサー感度調整方法

BCD チャンネル	雨滴感度 スイッチ LO	雨滴感度 スイッチ HI(+2)	ライトセンサー感度
1	+1	+3	0
2	+2	+4	0
3	+3	+5	0
4	+4	+6	0
5	-3	-1	+1
6	-2	0	+1
7	-1	+1	+1
8	0	+2	+1
9	+1	+3	+1
A	+2	+4	+1
B	+3	+5	+1
C	+4	+6	+1
D	-3	-1	0
E	-2	0	0
F	-1	+1	0
0	0	+2	0

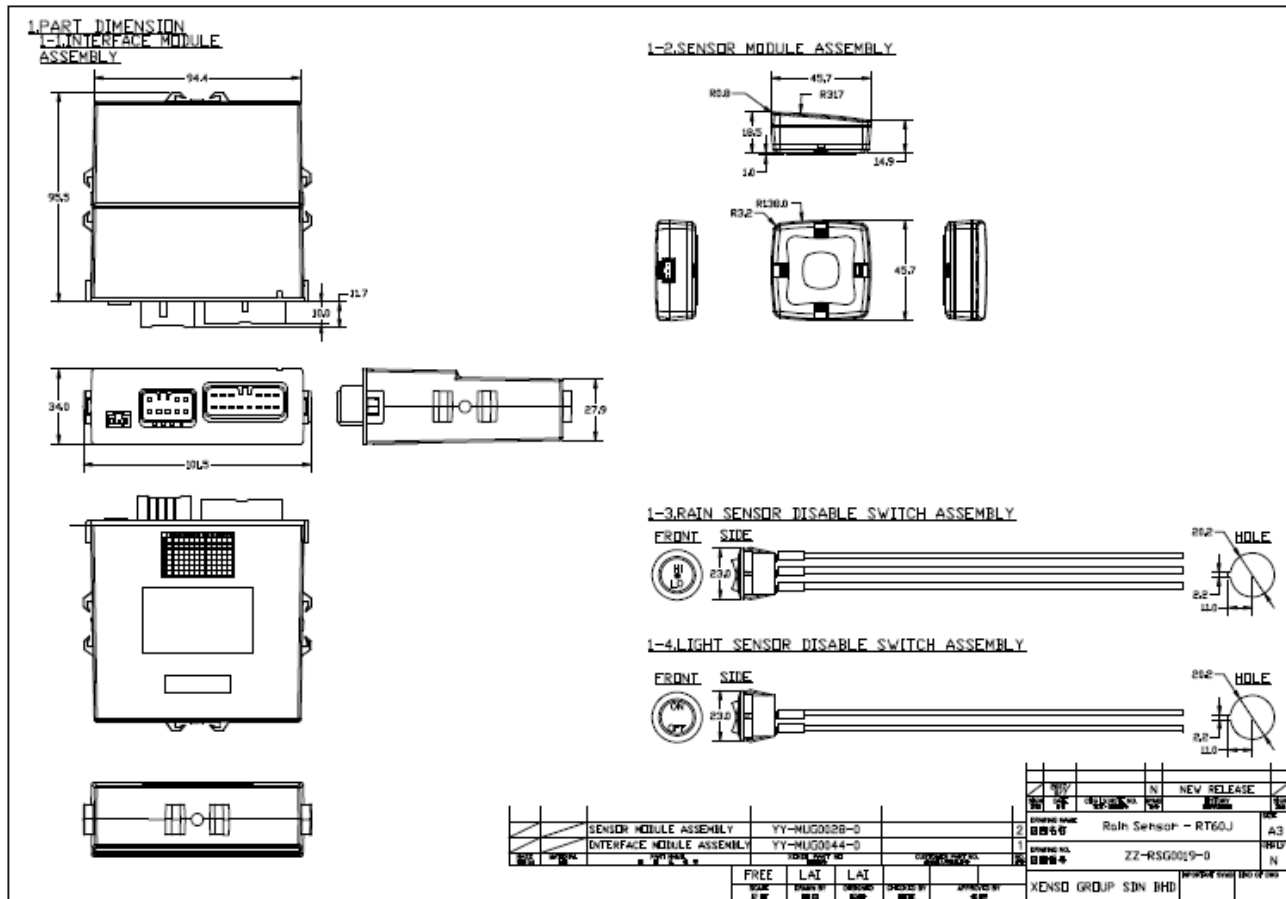


インターフェースモジュールのコネクター逆側にあるバイナリーコードスイッチ(BCD)スイッチで調整が行なえます。

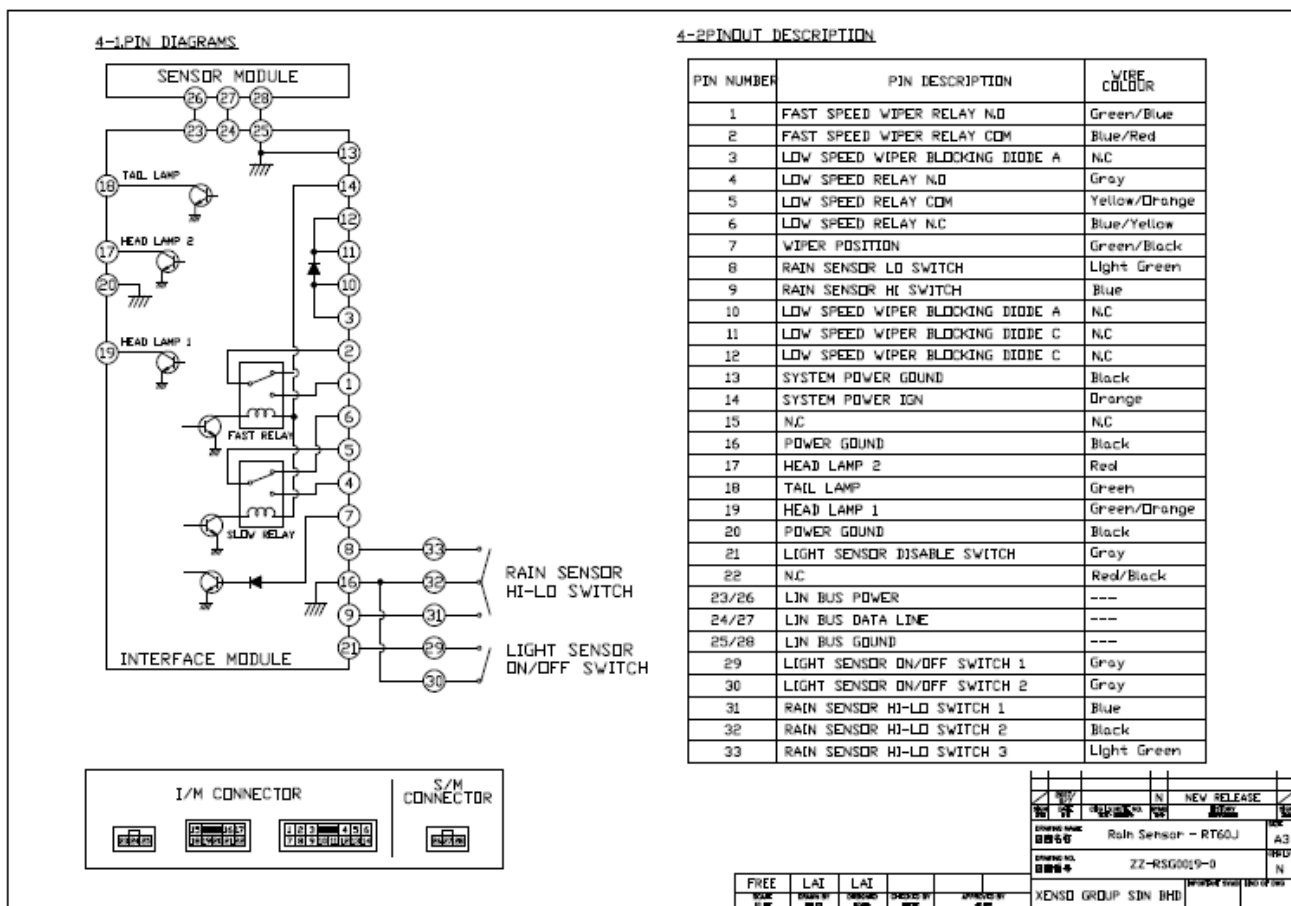
レインセンサーの感度は付属のレインセンサースイッチで LO から HI で感度を上げられますが、本体側の裏面の BCD スイッチで基準値の調整が可能です。基準値を 0 として感度を上げる場合は + 側へ、感度を下げる場合は - 側へ設定してください。この感度は間欠モードから SLOW モード、FAST モードへの切り替わりタイミングにも影響を与えます。感度を上げすぎた場合のデメリットは日光などの誤動作(誤検知)原因や、寒い時期にワイパーで拭き取った後が乾きにくく雨滴を検知し続けワイパーFAST 動作をし続ける【ロックアップ】と呼ばれる現象が多発する可能性があります。

- ・ BCD スイッチのチャンネル設定で雨滴感度は8段階、ライトセンサーの感度は2段階で調整が可能です。出荷時の設定は8となっております。
- ・ BCD スイッチで感度調整時は必ずレインセンサースイッチを【LO】に設定してください。
- ・ 雨天運転時、感度が悪く感じられた場合はレインセンサースイッチをHIにすると感度が+2上がります。

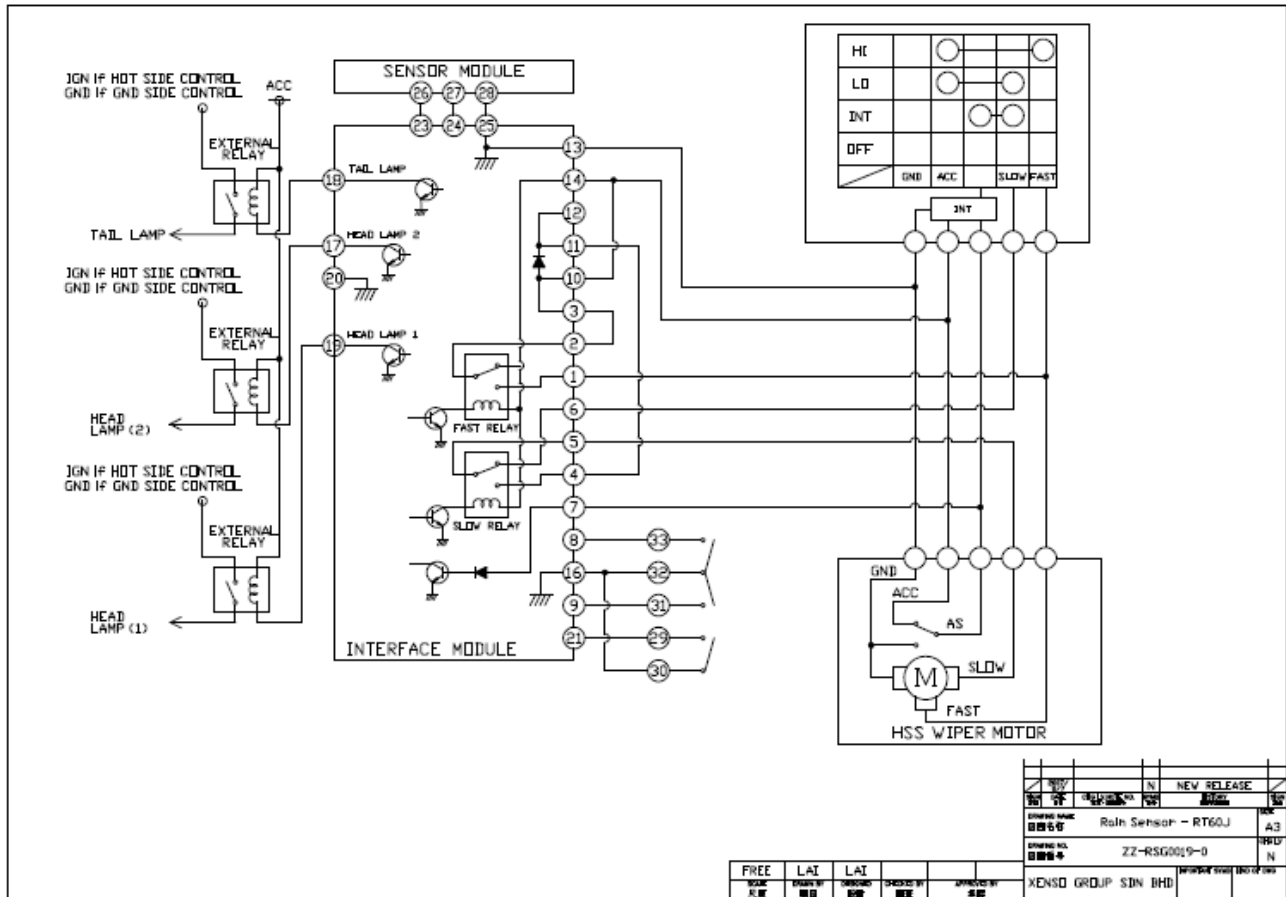
※ オートライトは出荷時の設定から感度を下げることはできません。



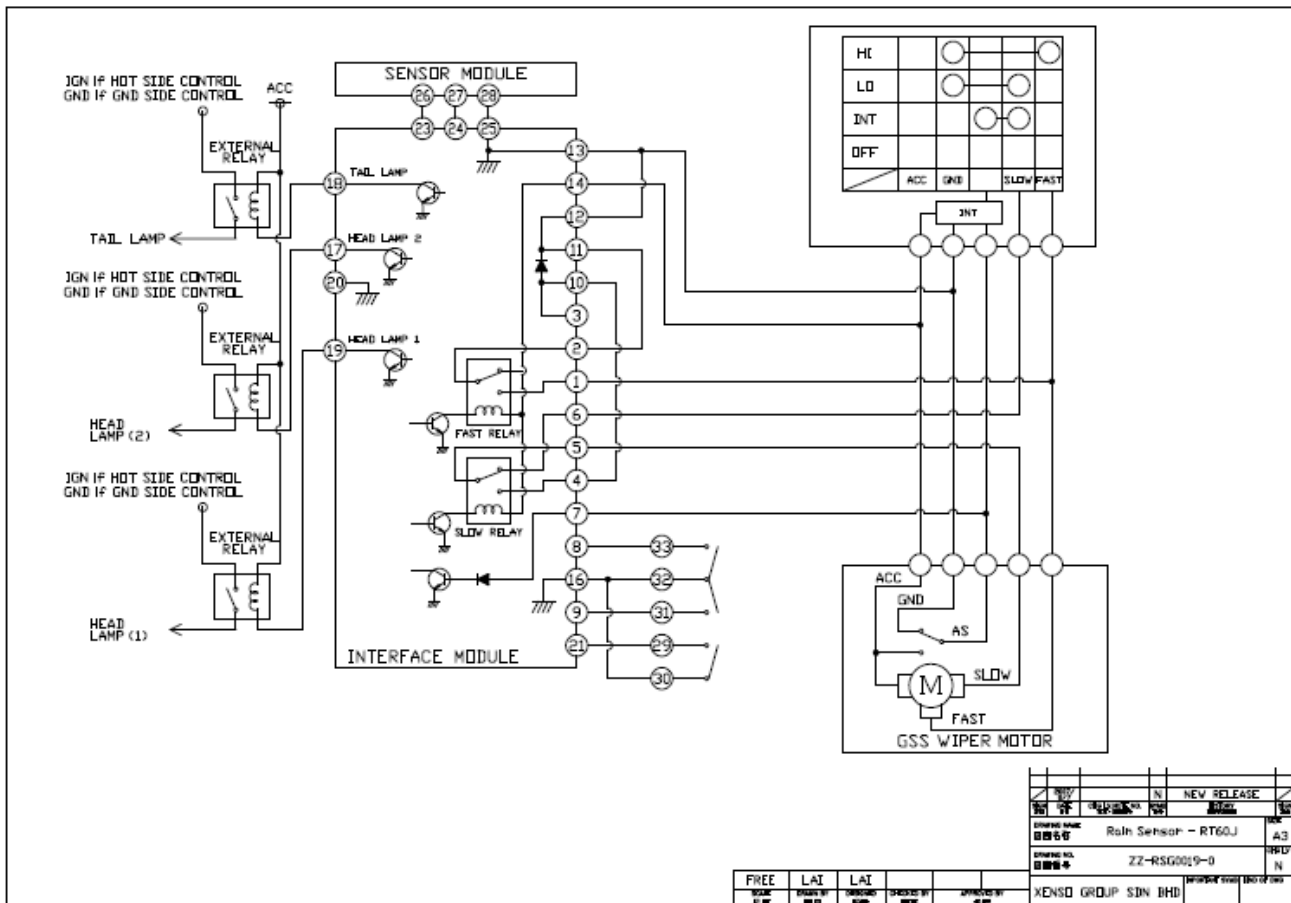
外部取り合いピンアサイン 配線詳細



HSS 接続方法、結線図



GSS 接続方法、結線図



オートワイパー接続方法



警告

配線接続を間違えると火災や車両の故障の原因となりますので慎重に行なって下さい。取り付け方法が良くわからない場合は購入元に確認してください。車両の配線図無しでの作業は危険ですので絶対に行わないで下さい。

- ① 車販売ディーラー等から取り付ける予定の車種のワイパー、ライト、コネクタピンアサイン等の必要配線図面を入手してください。配線図無しでの作業は非常に危険ですので行わないで下さい。配線図に結線図を書き込み十分に精査してから取り付け作業を開始して下さい。取り付けに必要な工具ニッパー、プライヤ、ビニールテープ等は事前に準備してください。
- ② 取り付け前に車両のワイパーシステムが正常に動作するか確認します。INT(間欠)、SLOW、FAST の切り替えでワイパーが正常に動作するか確認してください。
- ③ 作業前に取り付け位置を決めてください。ルーティングを決定し配線切断前に取り付け位置が適正であるか判断します。

センサー	ワイパーで拭くエリア且つ運転時視界を妨げない位置に設置してください。車種によってはフロントガラスにスモーク(日よけ)がある場合がございます。この部分への設置は避けてください。
インターフェース モジュール	運転の邪魔にならないようにダッシュボード内スペース等に設置してください。感度調整用の BCD スイッチを切り替える場合は取り出しアクセスする必要がありますので、設置場所にはそれらを考慮してください。
3ピンワイヤー ハーネス	センサーとインターフェースモジュール間の接続に使用します。通常はヘッドライナー(天井部分)とピラーカバーを外して配線を引き回します。
レイン&ライト スイッチ	直径20mmの穴を開ければ固定可能です。固定する場合はインターフェースモジュールとの接続は固定後に行ってください。配線の引き回しが出来なくなります。
8ピン&14ピン ワイヤーハーネス	ワイパースイッチやライトスイッチは通常ハンドル付け根内に配線やコネクタがありますのでハンドル付け根内に取り回します。この際に配線を適切に取り回さないと配線がハンドルギア等に絡まりハンドル操作できなくなり危険です。付属のケーブルタイを使用し干渉しないように万全の注意を払ってください。2配線接続端子からバラ線が出た状態のまま束ねると配線ショートの原因になりますので、ビニールテープでの配線収束と絶縁作業を行ってください。

- ④ オートワイパースイッチを取り付けます。穴を開けて固定する場合は固定後にインターフェースモジュールとの接続を行ってください。スイッチ取り付け後に14ピンワイヤーハーネスと接続して下さい。
- ⑤ インターフェースモジュールを仮設置して、インターフェースモジュール用の14ピンワイヤーハーネスを事前に HSS 又は GSS 用に設定します。設定の配線方法は6頁をご参照下さい。車両によってワイパースイッチ、ライトスイッチに GSS 接続と HSS 接続があります。
 - GSS とは GROUND SIDE SWITCHING の略でスイッチを ON(接点を入れる)にしたときに GND に短絡するスイッチシステムです。テスターで測定するとスイッチを入れると 12V⇒0V になります。
 - HSS とは HIGH SIDE SWITCHING の略でスイッチを ON(接点を入れる)にしたときに 12V ラインに短絡スイッチシステムです。テスターで測定するとスイッチを入れると 0V⇒12V になります。

HSS の場合	<ol style="list-style-type: none"> ① 車両のワイパースイッチの 2 番(青赤)からでている端子を3番へ差込みます。 ② 付属の単品バラ線(黄黒)の端子側を10番に差込み、バラ線側を14番ハーネス(オレンジ)に接続します。 ③ 4番線(灰)からでている端子を11番に差し込みます。※6頁目の上側 HSS 接続方法を参照してください。
GSS の場合	<ol style="list-style-type: none"> ① 2番からでている端子を11番へ差込みます。 ② 付属の単品バラ線(黄黒)の端子側を12番に差込み、バラ線側を13番ハーネス(黒)に接続します。 ③ 4番線(灰)からでている端子を10番に差し込みます※6頁目の下側 GSS 接続方法を参照してください。

上記で事前準備終了です。次に RT-60J 14ピンワイヤーハーネスと車両のワイパースイッチ配線の接続を行ないます。

- ⑥ 車両のワイパースイッチの SLOW 線を切断し各配線を接続していきます。分岐してインターフェースモジュールと接続しますので両側で配線加工ができるように均等に作業し易い位置で切断します。車両側ワイパースイッチ配線とオートレインセンサー用14ピンワイヤーハーネスの各配線接続方法とマルチメーター(テスター)での確認方法は次頁を参照してください。結線方法は6頁の接続方法を参照してください。

オートワイパー結線方法、確認方法



テスターの取り扱いを間違えると非常に危険です。配線接続を間違えると火災や車両、本製品の故障の原因となりますので慎重に行なって下さい。車両の配線図無しでの作業は危険ですので絶対に行なわないで下さい。

※ テスターの GND 側をシガーケースや、GND 配線、ボディーアース等に接続して信号で確認します。

ピン番/配線幅 (配線色/φ mm)	詳細 - 接続箇所(車両、スイッチ側)	テスターを用いての確認方法 GSS 接続の場合 DC 電圧確認	テスターを用いての確認方法 HSS 接続の場合 DC 電圧確認
1 番 (緑青/1.25mm)	FAST SPEED WIPER RELAY N.O - 車両側 FAST の配線と接続	切断前に FAST スイッチを ON にし確認します。12V⇒0V に切り替わります。	切断前に FAST スイッチを ON にし確認します。0V⇒12V に切り替わります。
5 番 (黄橙/1.25mm)	LOW SPEED RELAY COM - SLOW 線切断したモーター側の配線と接続	切断前に SLOW スイッチを ON にし確認します。12V⇒0V に切り替わります。	切断前に SLOW スイッチを ON にし確認します。0V⇒12V に切り替わります。
6 番 (青黄/1.25mm)	LOW SPEED RELAY NC - SLOW 線切断したワイパースイッチ側の配線と接続	※リレーの接点側ですので逆に接続しても動作します。	※リレーの接点側ですので逆に接続しても動作します。
7 番 (緑黒/0.5mm)	WIPER POSITION - 車両のワイパーポジション線と接続	ワイパーを SLOW もしくは FAST で動作させると 0V⇒12V⇒0V を繰り返します。	
8 番 (水色/0.5mm)	RAIN SENSOR LO SWITCH - スイッチの 33 番(水色)と接続	レインセンサースイッチ側、14ピンワイヤーハーネス側共に共通配線色の(水色)ですのでテスターで確認する必要はありません。	
9 番 (青/0.5mm)	RAIN SENSOR HI SWITCH - スイッチの 31 番線(青)と接続	レインセンサースイッチ側、14ピンワイヤーハーネス側共に共通配線色の(青)ですのでテスターで確認する必要はありません。	
13 番 (黒/1.25mm)	SYSTEM POWER GROUND - ワイパー作動用の GND と接続	OFF/SLOW/FAST に切り替えても常に 0V。配線はモーター駆動用の GND 配線(太い 20A 用)へ接続してください。間違えて接続すると過電流により配線が燃えたり車両のヒューズが飛ぶ危険があります。	
14 番 (橙/1.25mm)	SYSTEM POWER IGN - 12V のメイン電源ワイパー駆動用と接続	ワイパーの動作に関わらず INT、SLOW、FAST どの設定でも 12V がきています。配線はモーター駆動用の 12V 配線(20A 用)への接続です。間違えて接続すると過電流により配線が燃える危険があります。	
16 番 (黒/0.5mm)	POWER GROUND (スイッチ側) - スイッチ GND 用でオートワイパースイッチの 32 番線(黒)と接続	スイッチ取り付け後に接続した配線です。スイッチ側、14ピンワイヤーハーネス側共に共通配線色の(黒)ですのでテスターで確認する必要はありません。	

センサー取り付け方法



センサー部はオートワイパー、オートセンサー機能の性能に関わる重要な部分です。下記の手順通り適切に設置してください。特にカプラー表裏面の汚れやシール部の気泡は雨滴検知エリアを狭くし感度に影響を与えます。作業中にカプラーが指紋や誇りで汚れた場合は綺麗に拭き取って下さい。

- ⑦ 付属品のアルコールワイブ(IPA)でフロントガラスのカプラー貼り付け部分の綺麗に拭きとります。油脂や汚れが付着したままカプラーを貼り付けるとセンサーの脱落や、センサー感度の低下の原因になりますので十分に拭き取ってください。
- ⑧ カプラーの赤いシール保護フィルムを剥がし、気泡が入らないように下側からゆっくりと力を入れフロントガラスに貼り付けます。
- ⑨ センサー本体を取り付けます。4つのツメで引っ掛ける構造になっております。ツメを折らないように均等に力を入れてカチッと音がするまではめてください。センサーに向きはありませんが、通常3ピンワイヤーハーネスはヘッドライナー側から配線を回していますので通常はコネクタが上側です。万が一間違えてもセンサー本体とカプラーの分離は簡単に行えます。
- ⑩ 最後にワイヤーハーネスをすべてモジュールに接続して完了です。スプレーや如雨露、ホース等で水滴をつけオートワイパー機能が正常に動作するか、スイッチが正常動作するか、車両のワイパースイッチも問題ないか確認してください。危険ですので動作確認終わるまで車両の運転は行なわないで下さい。

オートライト接続方法



警告

テスターの取り扱いを間違えると非常に危険です。配線接続を間違えると火災や車両、本製品の故障の原因となりますので慎重に行なって下さい。車両の配線図無しでの作業は危険ですので絶対に行なわないで下さい。



取り付ける車両にすでにオートライト機能がある場合はそちらを優先し、RT-60J のオートライト機能は使用しないで下さい。RT-60J センサーは赤外量から照度に換算して動作させる為、実際の照度センサーを用いたオートライト機能より精度は劣ります。



車両側にヘッドランプと、車幅灯(スモールランプ)作動用のリレーが設置されていない場合は別途オプションの外付リレーが必要になります。取り付け車両にランプの駆動用リレーがある場合も車両のライトスイッチが HSS の場合は外付リレーが必要になります。

① オートライト用の ON/OFF スwitch と 8ピンワイヤーハーネスを準備します。車幅灯とヘッドランプの図面を準備して回路を理解してから作業実施してください。

② オートワイパースイッチを取り付けます。直径 20mm の穴を開けて固定する場合は固定後にインターフェースモジュールとの接続を行ってください。スイッチ取り付け後にインターフェースモジュールと接続して下さい。

③ 8ピンワイヤーハーネス、オートライトスイッチ配線を接続します。結線方法は6頁の接続方法を参照しながら下記の通り実施して下さい。

※テスターの GND 側をシガーケースや、GND 配線、ボディーアス等に接続して信号で確認します。

ピン番 (配線色/φmm)	詳細 - 接続箇所(車両スイッチ側)	テスターを用いての確認方法 リレー-GSS 接続のみ (HSS は外付リレー必要です。)
17 番 (赤/0.5mm)	HEAD LAMP 2 - ヘッドランプ用スベア(左右分離型等)用	スベア用です。ライトスイッチの接点一つで左右ヘッドランプの接点になっている場合は不要です。フェールセーフでワイパースイッチが左右ヘッドランプの2つの接点を持っている場合に使用します。車両配線図をみて不要であれば接続不要です。確認方法は車両のヘッドランプ ON 時、12V から 0V になります
18 番 (緑/0.5mm)	TAIL LAMP - 車幅灯(スモールランプ)接続用です。	車両のヘッドランプ ON 時、12V から 0V になります。その後ヘッドランプを点灯しても 0V です。※0V⇒12V に変わる場合は HSS です。
19 番 (緑橙/0.5mm)	HEAD LAMP 1 - ヘッドランプ用	車両のヘッドランプ ON 時、12V から 0V になります。 ※0V⇒12V に変わる場合は HSS です。
21 番 (灰/0.5mm)	LIGHT SENSOR DISABLE SWITCH (スイッチ側) - ライトセンサーON/OFF スwitch 取り合い用です。	この配線は 8 ピンワイヤーハーネス、スイッチ共に(灰)色配線になっていますので確認不要です。ライトスイッチ配線は 2 本ありますが両方とも(灰)色です。どちらでも構いませんので 8 ピンワイヤーハーネスの 21 番(灰)と接続して下さい。
- (灰/0.5mm)	LIGHT SENSOR ON/OFF SWITCH (スイッチ側) 21 番作業で残った片側のスイッチ配線(29 番、もしくは 30 番)	上記 21 番の配線作業後に残ったライトスイッチの残った方の配線(灰)です。オートワイパースイッチの 33 番(黒)等 GND に接続して下さい。

※オプション外付リレーを使用する場合は外付けリレーに添付される結線方法を確認してください。

④ 結線後にオートライト機能を確認します。



注意

オートライトの動作テストの時はオートワイパー機能を OFF にして下さい。レインセンサースイッチ設定【・】で OFF になります。雨滴検知エリアに接触すると雨滴と誤認識しワイパーが作動し危険です。

ライトセンサースイッチを ON にし、センサー部分を遮光し、約 1 秒後に車幅灯⇒約 3 秒後ヘッドライトが正常に点灯するのを確認します。夕方～夜間ではこの動作確認ができませんのでご注意ください。次に車両側のヘッドランプのスイッチが正常に動作する事も確認します。危険ですので動作確認終わるまで車両の運転は行なわないで下さい。

保証規定

- 取扱説明書などの注意書に従った正常な状態で、保証期間内に故障した場合は無料で修理します。この場合は、弊社にご連絡ください。なお、故障の内容によりましては、修理に代えて同等商品と交換させていただくことがあります。
- 保証期間内でも次の場合は、有料修理となります。
 - 取扱い上の不注意、誤用、落下による故障や損傷
 - 不当な修理または改造による故障や損傷
 - お買い上げ後の移動あるいは輸送による故障や損傷
 - 接続している他の機器に起因した故障や損傷
 - 消耗備品が自然磨耗または自然劣化し、消耗品を取り替える場合
 - 火災、地震、落雷、風水害、その他天変地変、または、異常電圧などの外部的要因による故障や破損
 - 本書のご提示のない場合
 - 本書の所定事項の未記入または字句を替えられた場合
 - 前各号に掲げる場合のほか、故障の原因が、お客様のご使用方法にあると認められた場合
- 故障その他による営業上の機会損失は当社では補償いたしません。
- 本製品に関し、いかなる場合も当社の費用負担は本製品の個品価格以内とします。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。 This Warranty is Valid only in Japan.
- 本書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

保証書

本書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。

お買い上げ日から下記期間中故障が発生した場合は、弊社にご連絡の上、商品と本書を弊社宛にご郵送ください。

尚、センソージャパンへの送料・手数料等の実費はお客様のご負担とさせていただきます。

予め、ご了承ください。

お客様	名前	ふりがな 様		
	住所	〒□□□-□□□□ 電話番号 — —		
お買い上げ日	年 月 日	保証期間	本体1年	
販売元	〒197-0024 東京都福生市牛浜85-2 センソージャパン株式会社 Tel.042-539-2837 Fax: 042-539-2838		http://www.xenso.jp Email: info@xenso.jp	
製品名	レイン&ライトセンサー			
型式	RT-60J			